

「ハウステンボス」の運河遊覧船

17世紀オランダ王室のイメージを採り入れた

“カナル・クルーザー” 建造について

1991年5月

**ヤマハ発動機株式会社**

本社広報室 ● 〒438 静岡県磐田市新貝2500 TEL.0538(32)1145 FAX.0538(37)4250  
東京広報課 ● 〒104 東京都中央区銀座8-8-5陽栄銀座ビル TEL.03(3571)8191 FAX.03(3574)8019

ヤマハ発動機（株）は、長崎オランダ村グループのZEEクルーズ株式会社（笹井稔一社長／長崎県）より「ハウステンボス」内の運河を航行する13隻の“カナル・クルーザー”を受注し、その建造に取りかかることになり、5月17日に起工式を行いました。

起工式は1991年5月17日の午前11時より、ヤマハ天草製造（株）（井上義光社長／熊本県）にて行い、「ハウステンボス」の運営会社であるハウステンボス株式会社をはじめ、ZEEクルーズ株式会社、さらにヤマハ関係者が集まり、神事や玉串奉典・入銚の儀等の式次第を無事終えました。

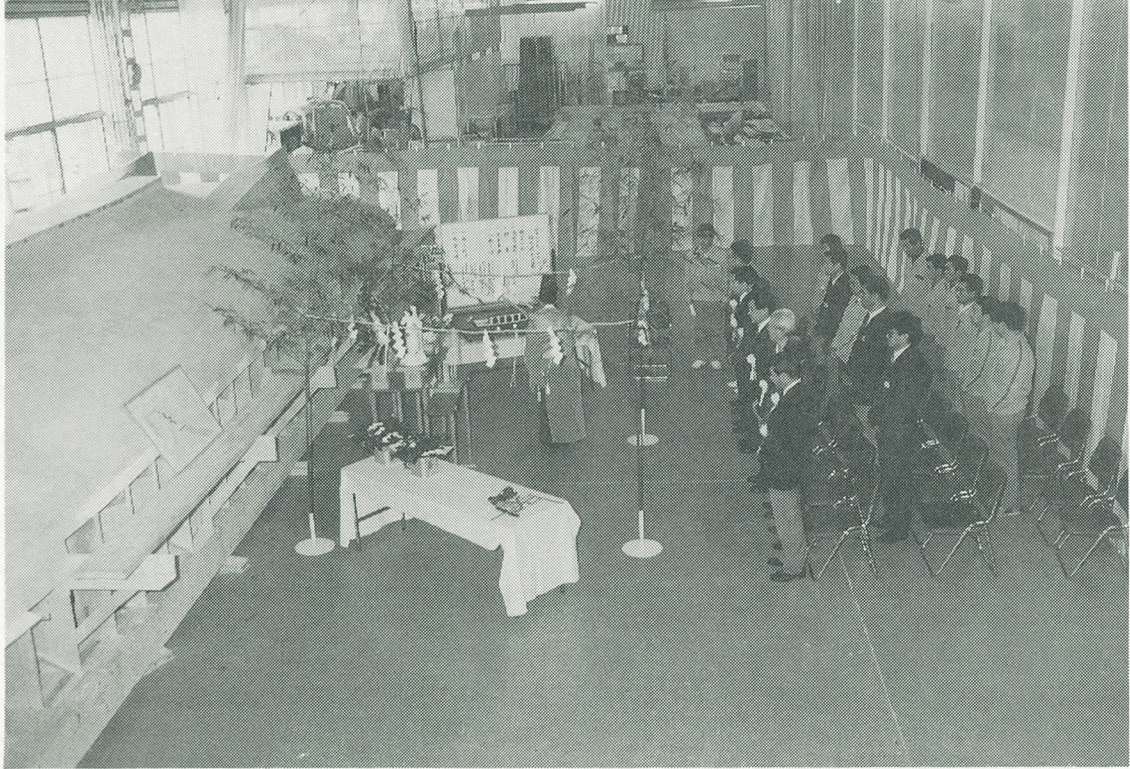
「ハウステンボス」は、「長崎オランダ村」が1983年に開業以来培ったノウハウを生かし、風光明眉な大村湾に面した152ヘクタールの広大なエリアに、「人と自然の共存する住環境作り」をコンセプトとして開発中（1992年3月25日オープン予定）のオランダの街並みを模したウォーターフロントリゾートです。

当社が建造に着手した“カナル・クルーザー”は、ハウステンボス内を巡る全長5,600mの運河を航行し、同敷地内の多様な施設を案内する運河遊覧船として活躍するもので、「ハウステンボス」の運航事業を担うZEEクルーズ株式会社より受注いたしました。

“カナル・クルーザー”の外観は17世紀のオランダ王室のイメージにマッチしたクラシカルなスタイルを採り入れ、落ち着いた雰囲気を漂わせており、内外装とも5バリエーションのカラーリングを用意しています。

設計からデザインまで当社で行い、さらに17世紀オランダ風のより本物をめざすため、メガヨットデザイナーとして世界的に有名はデ・フロート氏のコンサルティングを受けています。

なお、この“カナル・クルーザー”は、本年夏に1号艇を完成させてテストを行った後、翌1992年1月末に10隻、同2月末に2隻を完成させ、「ハウステンボス」のオープン前に13隻が一括納入されます。



ヤマハ天草製造（株）で行った起工式風景

## < “カナル・クルーザー” の概要 >

### 1. 主な特徴

#### ■ 優雅でアンチックなスタイリング

全体コンセプトは、17世紀のオランダのイメージにマッチした雰囲気となっており、世界にも類のない独特のスタイルを採用。床面はチーク貼りとし、窓下台・腰壁・巾木にナラ材を使用した他、外板は5種類のカラーリングを使い、室内内装も外板のカラーに合わせてコーディネートしています。

#### ■ 振動・騒音・横揺れが少ない

長年培ったFRP船の建造技術を生かし、安定性に優れた独自の船型を開発、引き波を最小に抑えることにより、横揺れの防止と護岸保護にも配慮しました。振動および騒音の起こりにくい構造とし、静かでゆったりとした運河内のクルーズを満喫できます。また、船底の喫水を浅くして、水深の浅い運河内の航行を可能としています。

#### ■ 46名を収容するワイドなキャビン

清潔なカラーリングを基調に、明るく・やわらかな木調をアクセントにあしらったキャビンは、46名を収容するワイドなスペースをもっています。両舷の窓は、外の景色を十分楽しめるよう大型の窓を取り付けているため、ゆったりと景観を楽しめます。

#### ■ 快適なクルーズを演出する船内設備

キャビン内には放送設備の他、十分な容量のエアコンを装備しているため、季節を問わず快適なクルーズが楽しめます。

■操縦性・保針性・応答性も抜群

ツインキールの採用と、艇体重心を中心に位置させることにより、保針性と操舵の応答性を向上させ、ディーゼルエンジンの2基掛けとあいまって、より安全な操縦性を実現。狭い場所での小廻りやより確実な操船が行えます。

2. 主要諸元

■全長 : 14.39m

■全幅 : 4.00m

■深さ : 1.05m

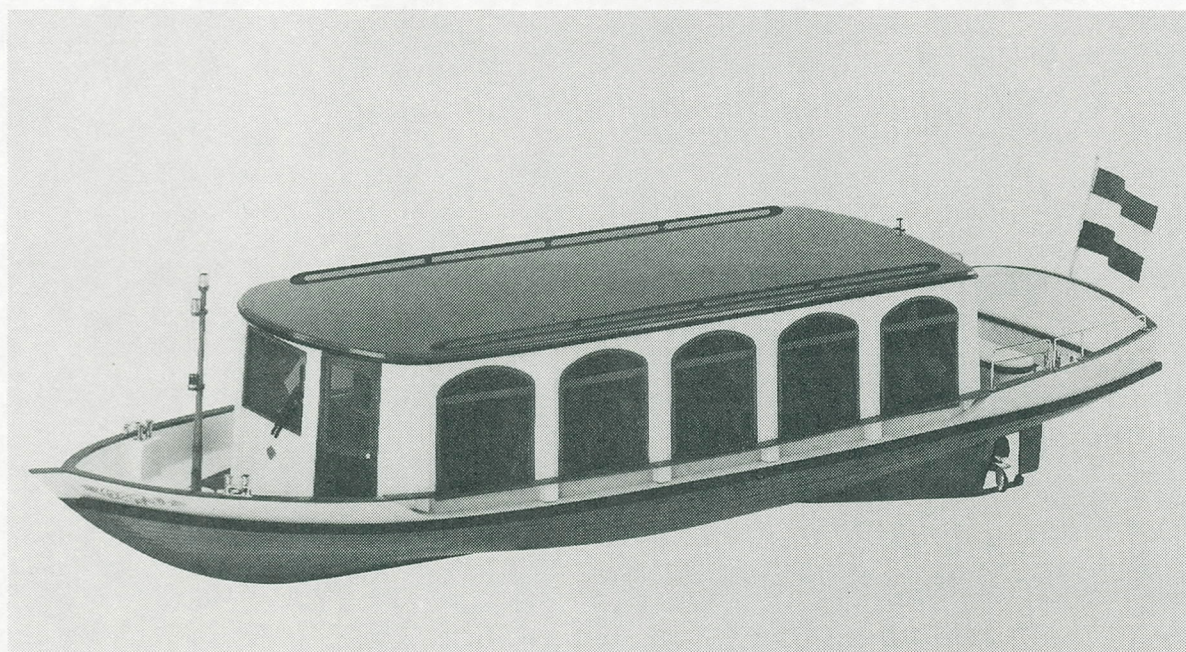
■総トン数(計画) : 17t

■連続最大馬力 : 24ps/3000rpm

■燃料タンク : 600ℓ

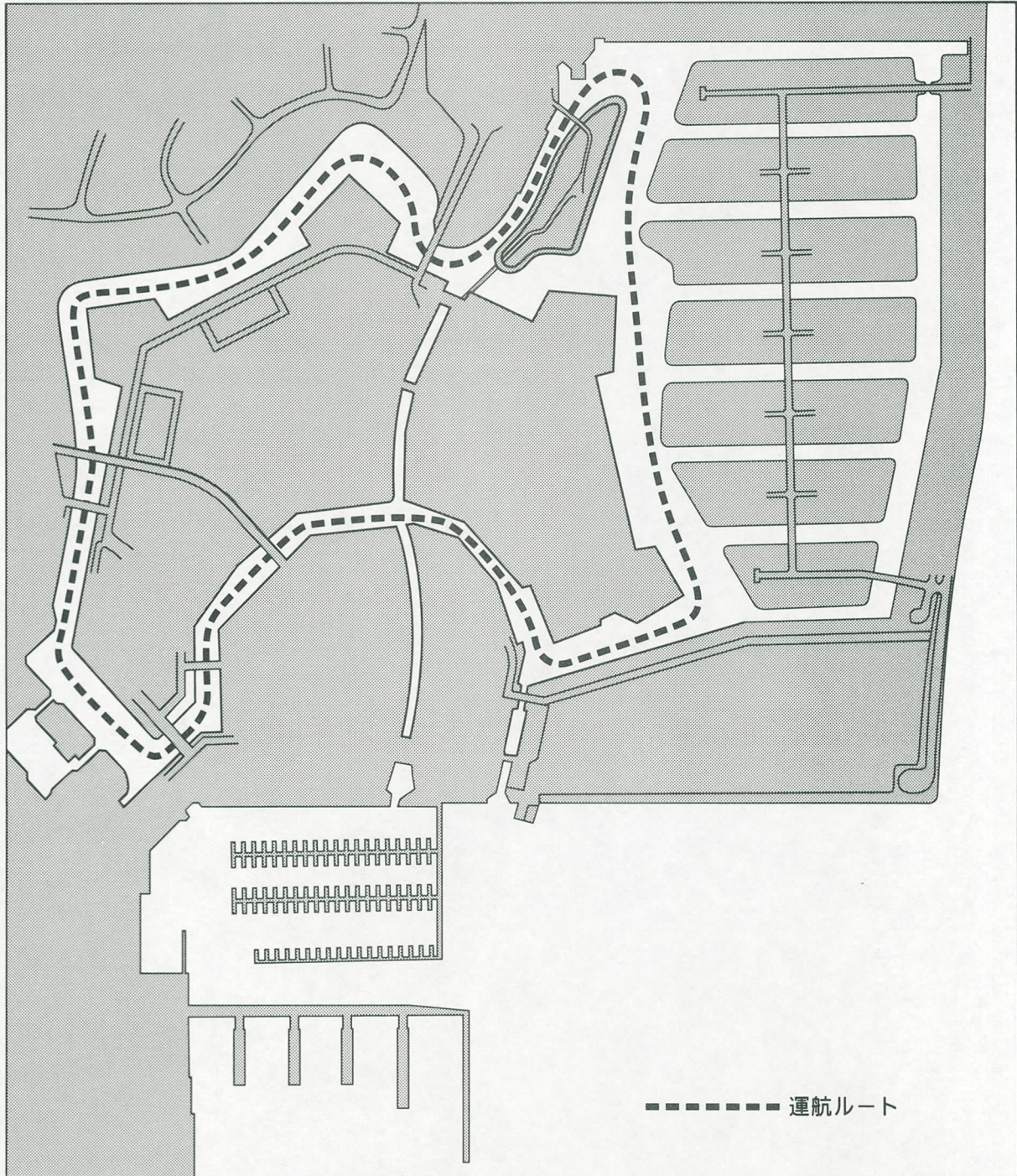
■定員 : 52名(旅客=51名、乗組員=1名)

■マックス速度 : 5kt



イメージモデル (1/20)

< “カナル・クルーザー” の運航ルート >



## ヤマハ発動機株式会社 概略

本社所在地 : 静岡県磐田市新貝 2500

社 長 : 江 口 秀 人

資 本 金 : 22,822,423,829 円

事 業 : モーターサイクル、ボート、ヨット、ウォータービークル、  
プール、和船、漁船、船外機、ディーゼルエンジン、四輪  
バギー車、レーシングカート、ゴルフカー、汎用エンジン、  
発電機、エンジンポンプ、スノーモビル、小型除雪機、  
自動車用エンジン、産業用ロボット、ガスエアコン、産業  
用無人ヘリコプター等の製造販売、各種商品の輸入販売。  
観光開発事業およびレジャー、レクリエーション施設の経  
営並びにこれに付帯する事業。

— この件に関するお問い合わせ先 —

ヤマハ発動機（株） 広報室広報課（担当：井手）

静岡県磐田市新貝 2500

☎（0538）32-1145（直通）

ヤマハ発動機（株） 東京広報課（担当：大隅）

東京都中央区銀座 8-8-5 陽栄銀座ビル 4F

☎（03）3571-8191（代表）